

家庭教育について

□調査期間 平成28年6月7日～平成28年6月20日

□調査の趣旨 本市では家庭教育を支援するための基本理念を定めることを検討しています。家庭教育についてお聞きます。

□対象者数 486 人(平成28年6月7日現在)

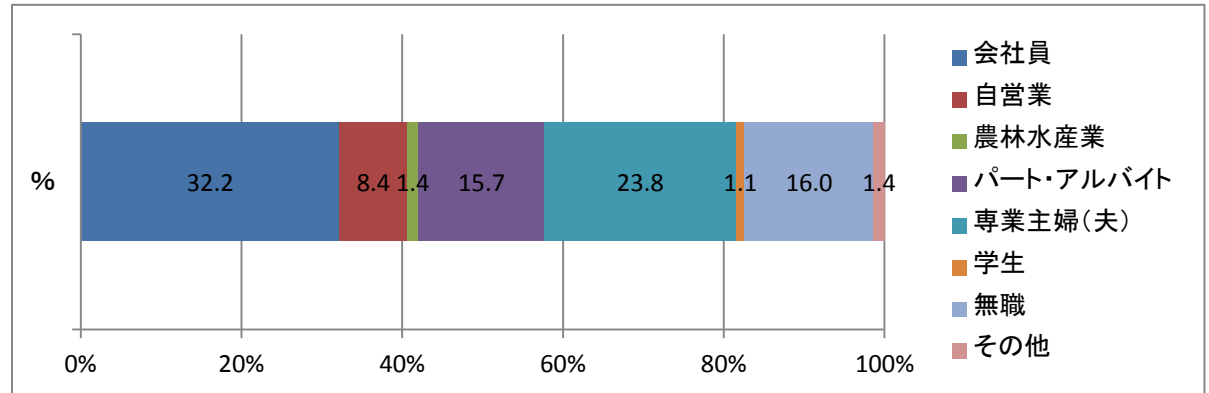
□回答者数 369 人

□回答率 75.9% %(平成28年6月20日時点)

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

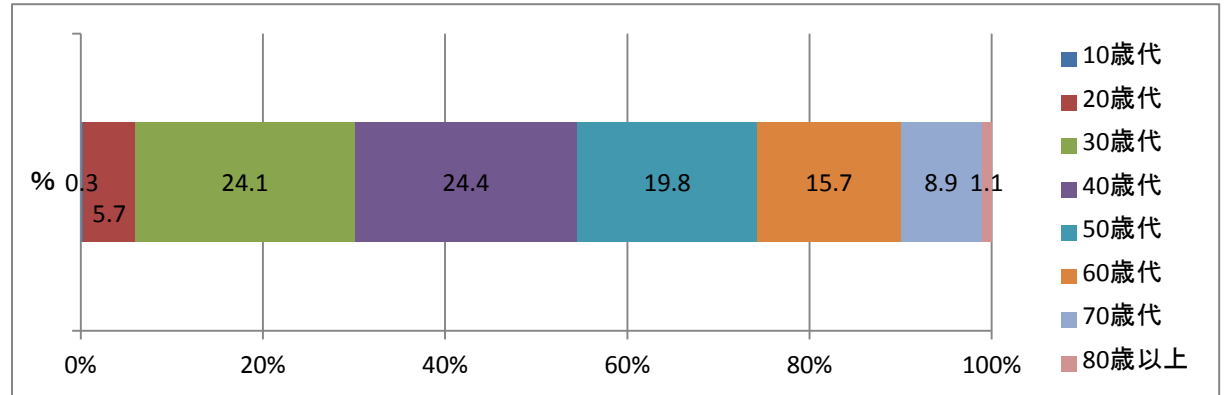
【ご職業】

内訳	人数	%
会社員	119	32.2
自営業	31	8.4
農林水産業	5	1.4
パート・アルバイト	58	15.7
専業主婦(夫)	88	23.8
学生	4	1.1
無職	59	16.0
その他	5	1.4
合計	369	100.0



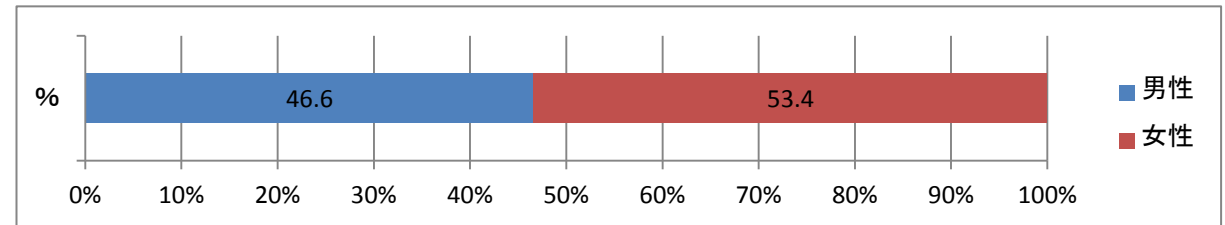
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	1	0.3
20歳代	21	5.7
30歳代	89	24.1
40歳代	90	24.4
50歳代	73	19.8
60歳代	58	15.7
70歳代	33	8.9
80歳以上	4	1.1
合計	369	100.0



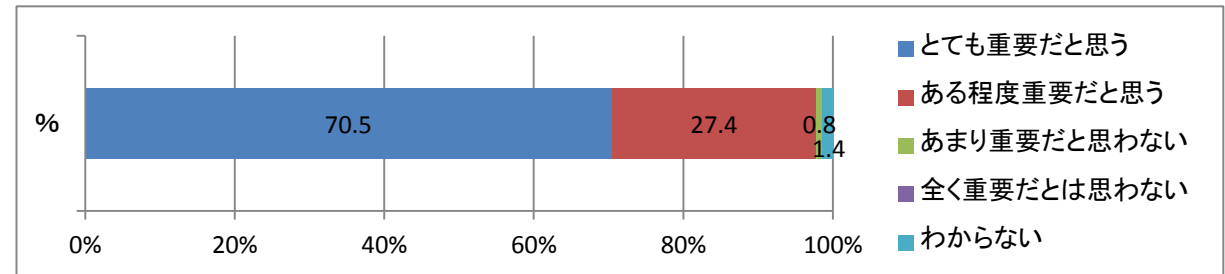
【性別】

内訳	人数	%
男性	172	46.6
女性	197	53.4
合計	369	100.0



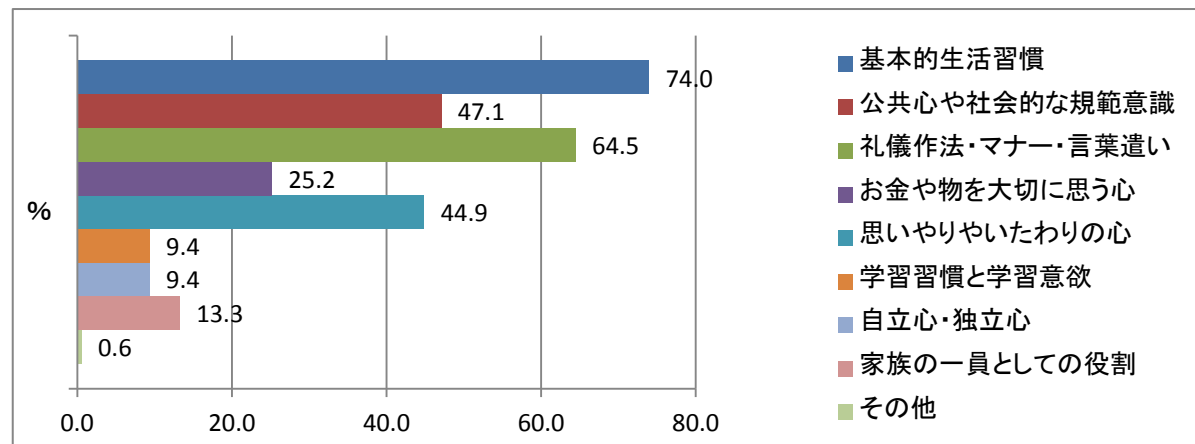
【問1】あなたは家庭教育を重要だと思いますか。

内訳	人数	%
とても重要だと思う	260	70.5
ある程度重要だと思う	101	27.4
あまり重要だと思わない	3	0.8
全く重要だとは思わない	0	0.0
わからない	5	1.4
合計	369	100.1



【問1-1】 問1で「1 とても重要だと思う」「2 ある程度重要だと思う」と答えた方にお聞きます。家庭教育の内容として重要だと思うものは何ですか。(3つまでお選びください。) 該当者361名

内訳	人数	%
基本的な生活習慣	267	74.0
公共心や社会的な規範意識	170	47.1
礼儀作法・マナー・言葉遣い	233	64.5
お金や物を大切に思う心	91	25.2
思いやりやいたわりの心	162	44.9
学習習慣と学習意欲	34	9.4
自立心・独立心	34	9.4
家族の一員としての役割	48	13.3
その他	2	0.6

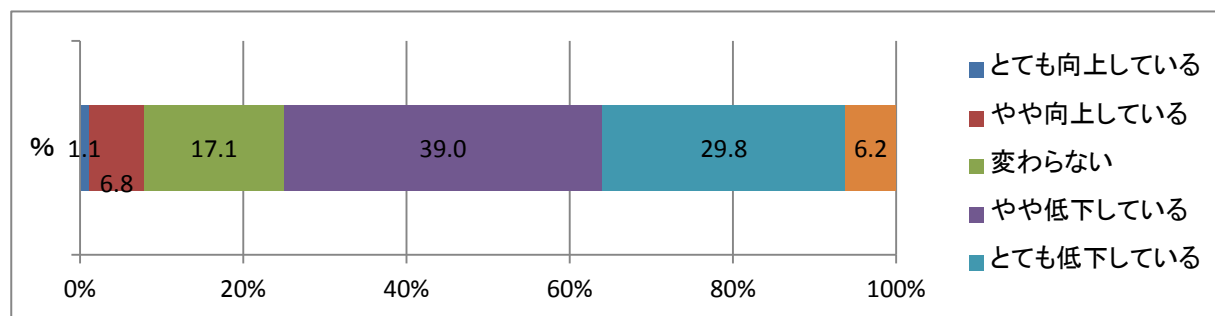


問1-2 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

人のために働くこと 字のごとし
すべて大事だと思います

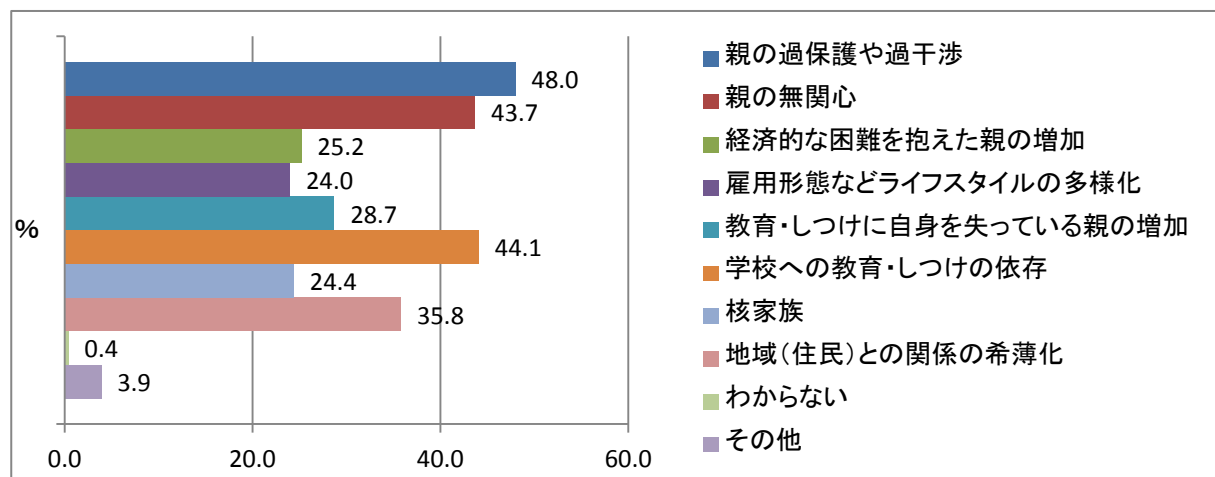
【問2】 あなたは近年、家庭における教育力がどう変化していると思いますか。

内訳	人数	%
とても向上している	4	1.1
やや向上している	25	6.8
変わらない	63	17.1
やや低下している	144	39.0
とても低下している	110	29.8
わからない	23	6.2
合計	369	100



【問2-1】 問2で「4 やや低下している」または、「5 とても低下している」と回答した人にお聞きます。低下した理由は何だと思えますか。(3つまでお選びください) 該当者254名

内訳	人数	%
親の過保護や過干渉	122	48.0
親の無関心	111	43.7
経済的な困難を抱えた親の増加	64	25.2
雇用形態などライフスタイルの多様化	61	24.0
教育・しつけに自身を失っている親の増加	73	28.7
学校への教育・しつけの依存	112	44.1
核家族	62	24.4
地域(住民)との関係の希薄化	91	35.8
わからない	1	0.4
その他	10	3.9



【問2ー2】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

地域コミュニティでの他世代との交流がないからダメなものもダメと教えられる人間がないから公助の精神がかけているから全ては、日本の学校教育での人間教育の指針が定かでないから、心がブレる人間ができてしまう。

離婚による1人親の増加

子供対しての基本的な責任が親にあるという考えがなくなっているため。マスコミが何かあると、国や地域の責任、学校の責任と報道するため親に責任が無いように思っている。

スマホへの依存症。親自身の常識や生活能力が低下していると思います。子供のことより、親がスマホなどに夢中になっている。

回答の選択で「親の増加」となっていますが、子の態度や考え方を聞いたり見たりして、低下していると思います。

親のモラルの低下

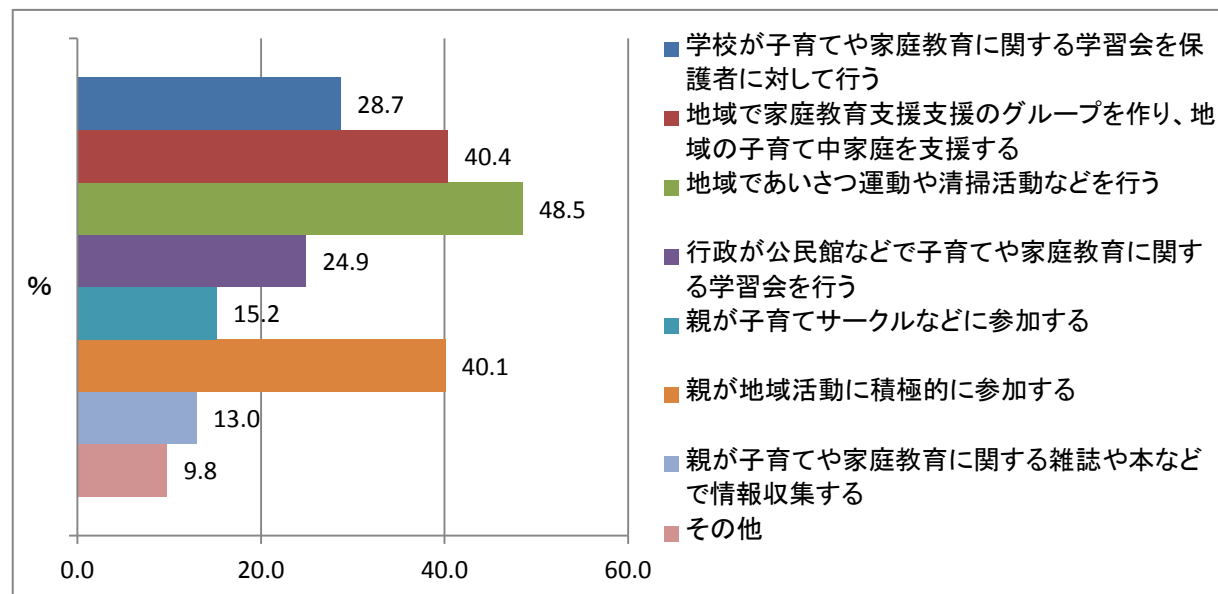
享樂的で自己中心的で非抑制的。一言で表現すれば「気まま」。

小学校低学年の「子どもの自立」という言葉の意味を都合よく解釈して、子どもと触れ合う時間より、親の携帯を触る時間を増やしていると思う。

親自体の考えが確立されていない。

【問3】あなたは、家庭の教育力をより高めるには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまでお選びください) 該当者369名

内訳	人数	%
学校が子育てや家庭教育に関する学習会を保護者に対して行う	106	28.7
地域で家庭教育支援支援のグループを作り、地域の子育て中家庭を支援する	149	40.4
地域であいさつ運動や清掃活動などを行う	179	48.5
行政が公民館などで子育てや家庭教育に関する学習会を行う	92	24.9
親が子育てサークルなどに参加する	56	15.2
親が地域活動に積極的に参加する	148	40.1
親が子育てや家庭教育に関する雑誌や本などで情報収集する	48	13.0
その他	36	9.8



【問3-1】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

生活するにあたり金銭的に難しいために共働きしていて、でも、そのために、親にゆとりがなく、子どもとゆっくり過ごす時間がなく、しつけなど全てにおいて学校任せにしているような家庭が少なくないように見受けられる。ゆとりをもって子どもを育てることが、家庭教育力にも繋がると感じ、その解決には社会保障の充実が必要だと考える。

子供が主体となっておこなえることを企画する。

教育者への教育が最重要課題です。今の教育者には、全てとは言いませんが、常識がありません。教育の基本をまず教える人にすべきです。

あまり行政や学校、地域などお仕着せに親世代の若い人に家庭教育の学習と言っても逆効果になるのじゃないかという気がして、さりげなくできるものがないかと思います。

親の子育てへの意識を高める。

子どもがやりたいことをやらすべきやと思います。大人の損得勘定ではなく、子どもの好奇心を意味がなくとも寄り添ってあげるべきやと。だから大人がプログラムを組むとかはちょっと違うと思います。

まずは親の経済力を高め教育に専念できる時間を十分持てるように生活できるベースをもてるようにすること。

物事の本質を見抜く力をどうしたら身に付ける事が出来るかととことん追求する姿勢を身に付けるようにしつける。

そもそも常識のない親が多いからムリ。

母親だけに負担がかかりにくい条件を整える。一時預かりの要件を緩和する。民間企業の残業を減らす、育休取得率をあげるなど、父親の育児参加を促進する。

幼稚園や学校で教える内容と家庭で教える内容を明確化、文章化(テキスト化)が必要。

親が、家庭で教える事が必要と痛感する社会状況・社会環境を作り出すことが出発点だと思う。でも、養育不能な親も実在する場合は、子供を保護する体制も必要だ。

現状では困難

親の雇用環境が悪化し子育てに経済的にも時間的にも余裕を無くしている。両親の共稼ぎをしないと生活が出来ない状況を何とかする必要がある。また、学校にかかる費用が多額になっている状況も変える必要がある。

親が子供に全責任があるという自覚をもつこと。

団体だと、参加しにくい時がある。個別に家庭教育をうける機会があってもよいと思う。

ボランティア活動に参加する。

学習意欲のある子ども、親に対する行政側のきめ細かいサポート。ただしそれは外部の胡散臭いコンサルタントを呼んでの学習会とかでは断じてない。例えるなら本を読みたい子がいるのに本棚に本が少ないので、何も言わずにそっと本棚を拡充するようなこと。具体的には図書館をもっと遅くまで開館してほしい。閉まるのが早すぎる。土日でも夕方5時に閉まるとか舐めてんのか。

上記、全て重要だと思いますが、活動に参加する親は元々教育力の向上心があると思います。

学習会という形ではなく、家庭での教育自体の関心を高めるような情報の発信が学校や行政から必要

親が学校任せにするのではなく教育に関心を持つことが大切だとは思いますが、忙しい親が増えたのかなんだか難しいと思う。

親子で参加・勉強できるイベント

『地域で家庭教育支援支援のグループを作り、地域の子育て中家庭を支援する』を選択したが、きっかけ作りは地域が行い、最終的には親が主体となってグループ運営を行うようにするべき。地域はあくまで『支援』であるべきと思う。

親の教育に対する意識を改善する。

PTA活動は回避したい親が増えているが、参加できる時は参加して、同じ年齢の子どもを持つ親同士の交流、情報交換をしてほしい。

親同士、ご近所との交流。支援グループや活動への参加となると参加することが義務になってしまうのではないかと。

マスメディア、報道関係者、教育関係者、等の意識改革が必要と思う。

親になった時のために、先に高校あたりでそのへの教育をしておいたほうがよいように思う。親になってからでは遅い気がする。

子どもをメインとした行事、イベントを開催した中で、保護者同士の交流を図ったり、勉強会などを開く。教育に興味のない親は、親が率先して参加する場所にはこないから。

家庭教育に力を入れようとしている親はほぼ問題無い。家庭教育に関心が無い親に少しでも家庭教育についての知識・関心を持ってもらう必要があるが、関心の無い親はそもそも学校や地域やサークルの「学習会」に来ないので問3の選択肢では無理。以前、大阪に住んでいた時は有無を言わず保健士による新生児訪問があった(全戸訪問だった)が、和歌山では「出生連絡票」「新生児訪問指導依頼票」等提出する必要があり、これでは面倒くさがる親、家庭教育に関心の無い親、そもそも子供に関心の無い親を訪問できない。ネグレクト・虐待・産後鬱発見の意味でも和歌山も全戸訪問として、その中で親への情報提供や支援を行っていくべき。

まったく違う地域での生活を子供たちにさせる。預かり制度。1週間くらい

現状、問題のある親、家庭には今更どうしようもない。

親や祖父母の学びの機会

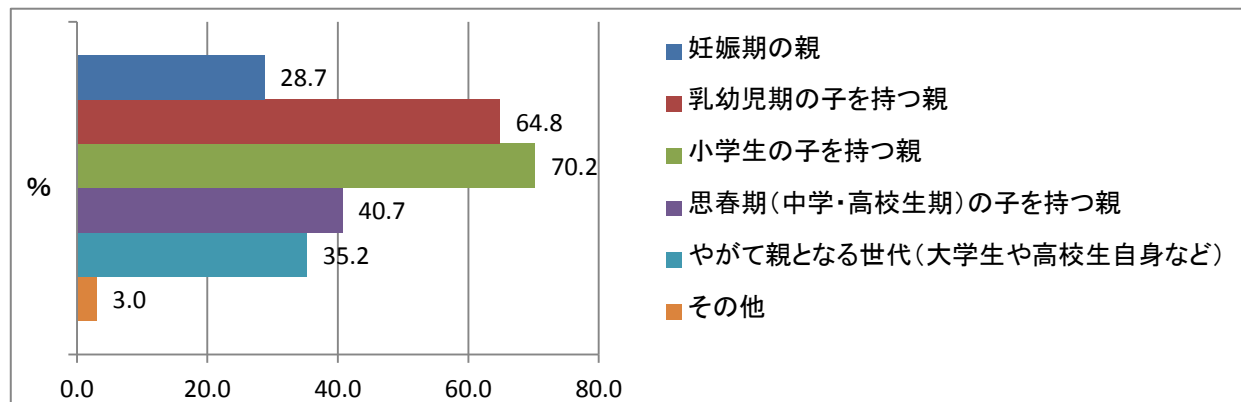
教育者への教育が最重要課題です。今の教育者には、全てとは言いませんが、常識がありません。教育の基本をまず教える人にすべきである。

親自身が積極的に社会参加して、常識力を身につけるべき。

家庭に教育する力がない前提で学校以外の教育の場をつくる。今すぐに家庭に教育しろといっても親がそのようにそだっていないから無理です。

【問4】あなたは、子育てや家庭教育に関する学習会や講座について、どのような方を対象に行うのが効果的だと思いますか。(3つまでお選びください)

内訳	人数	%
妊娠期の親	106	28.7
乳幼児期の子を持つ親	239	64.8
小学生の子を持つ親	259	70.2
思春期(中学・高校生期)の子を持つ親	150	40.7
やがて親となる世代(大学生や高校生自身など)	130	35.2
その他	11	3.0



【問4-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

近所の人や祖父母

今の親の人たちには、教育に裂ける時間が大変少ないと思います。その変わりを何で行えるか？一番大切な事ではないでしょうか。

学習会等の講師の適性についての評価は大丈夫だろうか常に疑問がある。

いつでも

地域の老人

高校生の子どもを持つ親と小学生の子どもを持つ親等、先輩ママと一緒に話をする場があれば、教えてもらうことも多いと思う。

お孫さんを持つご年配の世代 共働きの家庭が増えて、おじいちゃんおばあちゃんが子育てに関わる機会が増えていると思うので。

必要だと思わない。

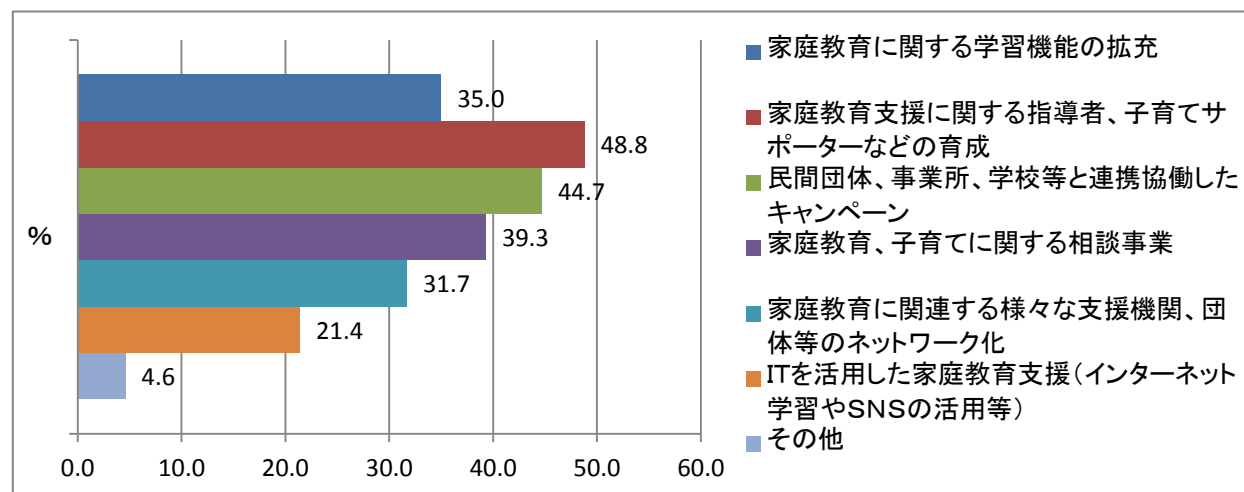
学習会・講座に来るのは関心ある人のみ。関心がない人にたいしての策がほしい。

全世代を対象とするのが良い。

今の親の人達には、教育に裂ける時間が大変少ないと思います。その変わりを何で行えるかが？一番たいせつな事ではないでしょうか。

【問5】 あなたは、家庭教育支援に関して、行政は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。(3つまでお選びください)

内訳	人数	%
家庭教育に関する学習機能の拡充	129	35.0
家庭教育支援に関する指導者、子育てサポーターなどの育成	180	48.8
民間団体、事業所、学校等と連携協働したキャンペーン	165	44.7
家庭教育、子育てに関する相談事業	145	39.3
家庭教育に関連する様々な支援機関、団体等のネットワーク化	117	31.7
ITを活用した家庭教育支援(インターネット学習やSNSの活用等)	79	21.4
その他	17	4.6



【問5-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

特になくと思います。子どもの好奇心は飛ぶ、踊るとかすごくシンプルなものやと思うので、行政の力を借りるまで行かないと思います。
 物事の本質を常に考える姿勢を身に付けるにはどうしたら良いかを、行政担当者として常に考え抜くこと。
 行政に何が出来るのでしょうか。行政に携わる方々が、まともじゃ無いと思っています。ただ、学校の成績が良かっただけで、社会生活の経験も知識もない方々に何も出来るわけがないじゃないですか？
 親が家庭教育の必要性を求めている場合、どうされますか？「全ての親が家庭教育が必要だと思っている。」との前提での設問ばかりです。
 家庭教育支援を行政が出来るかどうか疑問に思う。
 子育ての費用を全て無償にする必要がある。学校の費用は全て無償に、医療費も無料にする必要がある。・・・社会で子供を育てる。
 市民団体と行政との協働
 地域の保育所や幼稚園、小学校、中学校までが連携をとり、一貫してサポートできる体制を作してほしい。
 要らない。
 情報提供を積極的に行い、各家庭には、積極的には、立ち入らない。
 表面的なことにとらわれない、ほんまもん。(時間がかかったとしても・・・根本的に変えていかないとけないと思う)
 行政がいくら頑張っても無理 無関心な家庭は無関心
 楽しく学べるイベントの開催
 行政で解決しない。
 家庭教育に関する親への指導。どこまでを親が教育するのか、学校がするのか。

問6 子育てや家庭教育について、日ごろ感じていることがありましたら記入してください。（この設問は任意回答です。）

しつけが全くされていない子どもが多く感じる。経済的に働きにくいのも理解できるが、子育てに手が行き届かないのか目に余るものがあります。地域でのサポートも必要だと思います。

親に財力や知識が無いと 家庭では限度がある。親と言っても 親=母親 という世論なので 子供の事 全てが母親にしわ寄せがきて 正直、一人っ子でもしんどいです。

日本は、腐ってる。総理大臣を始め、本当に日本の国を良くしたいと純粋に思っている人は、数パーセント位だと思います。それが、下々へ広がって、子供が子供を殺したり、正直者は馬鹿を見るが、まかり通っている今日、何も期待していません。

親の躾が一番大事だと思う。

設問全体を通じての話だけれど、どういうものを家庭教育と定義しているのかよくわからない、通常の子育てとは違う何かを前提にしてるのだろうなあ、くらいはわかるが。

学校での休憩時間に外での身体を動かす様に心がける。

全体的に我が子さえよければとおもっている家庭ばかりのように思える。周りとの調和を考えるのはおやではなく、子供。子供にどういう将来が必要かを考えさせるほうがいい。

教育は教え育てる者でなければならない、学校教育、社会教育、家庭教育が充実してこそ子供は立派に育つ。学校では先生がモンスターマザーや教育委員会等を恐れ個性のある指導ができていない。社会では、われ関せずで向こう三軒両隣が連携していない。家庭では核家族化のため子育ての先輩がいない、親は素人。子育ての教育を受けたわけではない。

家庭教育では親の学習も不可欠

近頃ほんとうに、子どもって社会の宝物なんだと思う。

地域・学校・家庭が今後の日本を担う子供を育てると思います。

小学校低学年の生徒たちを見ていると、挨拶ができて家庭教育は昔と変わらない様に感じる。中・高学年になりスマホ、ゲーム機等を与え始める時期から生活態度に変化の見られる子供たちが多くなるように感じる。ライフスタイルの変化に伴うモラル等を家庭、学校、行政夫々で考える必要があると思います。

子供に対する親の過保護・過干渉や逆に無関心というのが増えてる。

家族だけで解決するのではなく、学校や専門職、地域の方々を巻き込んだの 子育てが必要だと感じる。

子供たちがのびのびと育っていない。

学習環境が都道府県や各地域などによって 良くも悪くも片寄っているのが 今の時代だと 何となく感じます。もっと全国的に均一に学習環境を整えたほうが良いような気がします。

子育ては親や学校の教育は勿論のことであるが、子供自身がそれを感じる事が大切であると考えている。今は、近隣に住んでいる友達や祖父母との関わりをもち大切なことを感じてほしいと考えている。

部活、習い事に時間を費やしており、親同士もそうですが、子供とのコミュニケーション不足の家庭が多いと思います。

核家族が多くなったいま、大人の教育に対する考えや行き過ぎた行動について、意見を言える人が周りにいない。また、学校の先生の立場も弱くなっているように思いますから、家庭教育がとても重要です。

親の自覚 責任感の低下 仕事と子育てで 親も余裕がなくなっている。

行政が後援する団体などの集いや学びをもっと積極的に学校などから、保護者に伝えることで安心して子育てには、何が大切かを学べると思います

気がついたことは その場で注意する親が少ない 子供はしっかり友達と遊ぶべき 外で遊ぶ子供が少ない。

極端に手をかけ過ぎているかと思えば、その真逆の放任主義の親御さんがいて両極端のように思える。

最近の親や子供さんを見ていると、周りの事を考えない、自己中心的な人が多いような気がします！ 協調性に欠けている！！

しつけや子育ての基本や子供自身が理解できるような年齢に応じた家庭教育のバイブルのようなものの作成

昔と違って、自分本位の考えで、相手や、周りの迷惑を顧みない大人も、子供たちも増えてるように思います。善悪を判断してストップをかけられる人間であってほしいです。信用できない人たちが多いですね。明るいニュースが増えることを願っています。

おじいちゃん・おばあちゃんの世代からの子供に対しての躾等の甘さがこの結果を生んだと思う。例えば、してはいけないことをして、注意する時も、なでかを叱るよりも、おじいちゃんに怒られるよ…とか怖いおばあちゃんが睨んでるよ… としか注意しない親・祖父母

世の中のあらゆる環境と親の考え方に問題がある。

学校教育が受験教育重視になっており、学習の楽しさを教えるのが不十分です。勉強は楽しくないこどもづくりでなく、学ぶことが楽しい教育を展開していただきたい。

子供が立派な大人に育つ必須条件は愛情に満ちた家庭教育である。私の人生経験からすれば、片親、特に母親のない家庭で育った子供は、思い遣り之ない、自分勝手な大人になったり、拳句の果ては自殺している。従って、「一億総活躍」で掲げられている「女性就業のさらなる増進」「保育士増加による子育て支援(子供の保育を他人任せにする)政策は、将来日本を滅亡させる政治だと思います。子育ては母親が行うべきです。その為には、企業は付加価値の高いイノベーションを行い、従業員(夫)に高い給与を支払えるようにしなければならない。日本

の労働生産性は今や後進国並みに低下している。

子供が難病でどうすることもできず悩んでいる。

教育という言葉を使うと、習い事や勉強と結びつけてしまう人が多いのが今の子育て世代だと思う。もう少し生きる力をはぐくむというイメージを感じさせる良い呼び方ができればと思う。こうでなくてはいけないという子育て書などに感化される孤独な親になる傾向が増えてきているようです。もっと気軽に天気を気にせず子供を遊ばせつつ親同士が話しできて子供も社会性を学べるような場所ができればいいなと思います。

近年、少子化で子供を大事にしすぎるあまり、学校内での問題児がよく耳にします。家庭教育のしつけが重要と思います。

思考能力の強化育成が最も大事である。

地域で育む地域・社会の構築が必要

腕より始めよ。行政が家庭教育を支援したいのならまず首長、市議員、職員自身たちの家庭教育をどうすべきか計画実践するところから始めればよい。そこから問題点が浮かびあがる。

家庭教育が大事で、行政が何か動こうとしていることに驚きました。うちはできているのかと不安になりました。

『家庭教育』が何を指しているのかわかりません。帰ってきてからの勉強だけなら、親が仕事で忙しく宿題のチェックもできない家庭も多いと思いますし、塾に行かせるのも治安の問題や収入の問題があって家庭任せにはできないと思います。しつけやマナーの問題であれば、学校や地域との連携が必要だと思います。学習会というものにはよほど興味があるか学校の参観日の中に取り入れるなどされない限りは、参加しようという気持ちにはならないと思います。プリント配付も同じだと思います。働かなくてはならない親、留守にしがちな親に対してサポートし、親子の会話の時間を増やしてあげることで、子どもが普段自分のいない間に地域の中のどの範囲を走り回り、どの家とどんな付き合い方をしているのかなど実態を把握することから始まるのではないのでしょうか。

衣食住が、満たされれば、それを維持する家庭教育が自ずと行われます。6人に1人が、満足な食事できない貧困家庭では、親子ともども心身ともに健康を維持できない。

育てにかかる費用を限りなくゼロに近づける。

子供の教育費、育ての費用がががかりすぎることが気になる。

私が子育てをしていた頃は携帯電話もインターネットもない時代で情報は親だったり、友達だったりでした。今は情報が多すぎてサービスも多すぎて、反面地域の交流が希薄になってきつつあるように思います。今も昔も基本は変わっていないと思います。家庭と地域(行政)学校が連携していけば良いと思います。

自分の子供をしっかり見ていない。

自分の時代と比べ、格段に親の子に対する質が下がっているように思える。MP(モンスターペアレント)の台頭がその良い例。そういった親がいる限り、子どもの環境が良くなることは基本、あり得ないと思う。

若い世代を中心に最近家庭教育の基本が薄れている傾向があるように思います。世代を超えて支援して、一丸となっていけるよう私自身も頑張りたいです。

親のマナーの低下が自動車等の運転に表らわれて、それが家庭教育まで悪くなっている。自分さえ良ければいいの考え。

アンケートを一応 答えましたが、家庭教育とは どういう事を言うのか分かりませんでした。

1、一人で居ると良い子なんです。2、はっきりと自分の意見が言える子に 3、挨拶が出来る子に 4、社会の一員だと言う意識を養う。

意識の高い親がいる一方で、信じられないくらい無関心な親もいる。家庭教育は非常に重要だと思うが、無関心な人は行政が何をしようが無関心だと思う。

子どもがおもいきり外で遊べる環境が少なくなっている気がします。私が幼い時は高津公園で遊んだのが凄く楽しかった思い出があります。ボール遊びが出来なくなったのは、痛いです。秋葉山の山の中で走り回ったりするのも楽しかったです。

共働きが心の余裕をなくしているように思う。

母親だけでは抱え込んでしまったり逆に熱心になりすぎたりと思うので父親にも積極的に参加できるようなプログラムやサークルを充実して欲しい。何ヶ月検診、のように強制的に集まれる場があってもいいかも。平日や休日、多様にして欲しい。

問2-1にもある、経済的な理由で共働きが必要な親が多く、基本的な社会規範等の教育が出来ていない。

将来、価値観が、変わって、職場に子供をつれて来やすい環境になればいいと思う。

ひとり親世帯が増加し、私が子育て中のような環境が望めなくなっている。

貧富の差、住んでいる地域の差、親自身が育った環境によって、子育てのスタイルが全く違い、20年前の子育て論では通用しないことも多いと思います。

公共の場でのゴミクリーン作戦の親子の参加

元来、律令に書いていないことでも、人としてならぬものはならぬ、ということをしかりと例え話で教える。また、善い行いは、偉人伝などでしかりと教える。

もう少し生物学的に立脚した考えで子供の教育を考えてあげるべきだと思う。たとえば、英語の早期教育は本当に大丈夫なんだろうかと思う。早期教育、記憶型教育にとらわれがちになっていると思う。また、個々の子供たちの個性を大切に、それを伸ばしていけるような教育体制をとのえていくことも重要に思う。

家庭教育は、地域ひいては国全体の発展のために、極めて重要であり、情熱を絶やすことなく、あらゆる世代が積極的に取り組むべきである。

子供の未教育を学校の責任にし、親自身の責任は無いような傾向があるように感じる 少子化している現実があるので、もう少し家庭での教育に関心を持たせるような働きかけをすべき 過保護にせず、自分で考える能力を持つように仕向ける家庭教育が必要。しかし最近の若い親は、まず親の教育が必要かも知れない。ITのみに頼らず、コミュニケーションを重視することが最重要

多様な考え方、行動する方がいますので、難しい課題と思います。ただ、子供は親の行動、考えを引き継いでいるとは思いますが。

女性の声を聞きすぎ。男性の声は軽視もしくは無視することに大いに不満を感じている。

自分も含めてですが、最近は共働きやシングルマザーが増え、働いている間の家庭教育がおろそかになってしまっている状況にも関わらず、何か問題があると学校や孫守りしてくれている祖父母に意見する家庭が多くなっているように感じます。でも働かないと生活もありますし…この辺りがうまくいくなればと思います。親にばかり家庭教育支援をしても、周辺環境が整わないとうまくいかないのではと思います。

塾に行かせるお金がない。学校で補習など外部講師を招いて土日などにやって欲しい。

親になる準備や心構えができていない親が増えていると思います。公共の場に出たら守るべきルールがあること、やってはいけないことがあることを子供に伝えていない親が多すぎます。周りで注意する大人がいらないのも問題だと感じます。

常識のない親・子供が多すぎる。一般教養(マナーや常識など)くらいは身に付くような、環境が必要。

小さい時の子供の習慣はあとあと大きく影響するので、まだ幼いときに親も子も経験することが大事だと感じます。

出産までに幼児期の子どもに関する知識を教えてもらいたかったです。妊娠期に育休中の方や保育園の方に話を聞く機会があれば、心構えができると思います。母親に余裕がないと、家庭教育は難しいと思います。

小学生高学年～中学生の頃の子育ての難しさ。

情報に惑わされ振り回されているように感じます。

この頃虐待の事件が多く親の認識が軽くどうも子供への愛情不足を感じる。しつけといい山の 中に放置したりもう少し愛あるしつけかたがあるような気がする。また地域の関わりも大切だと考える。

結婚や出産が早い、若い世代のみが優遇されている。何らかの事情で子育てが高齢になっても、同等の補助はなく、また年取で医療控除が受けられないのもおかしい。ひとつの家庭で子供の養育にかかる費用は大差はなく、今年収がいくらを越えているからといって、数年前、数年後はその年収があるわけではなく、丁度子育て期に重なっただけなのに。とても不公平を感じる。それを中学生までなんて、一体誰のお金でその医療費が賄われているのか、考えもしない家庭は無駄に病院に通っている。

偏差値の高い子供が多くなっているが社会常識が無い子供も多くなっている気がする。

あいさつをしない子が多いと思う。

幼いときから、長時間保育園に預けているため 自分の子供の一面しか理解していない親が多い。子供だから仕方ないという風潮も問題がある。子供だから、教諭する必要があると、先ず親に教えないといけない時代なのかもしれないと思う。

「家庭の教育力」を高める必要性があるとは思ものの、結局は本人(親)の意識による。ただ、核家族化や共稼ぎの増加といった構造的な要因もあるなかでは、いますぐの改善は望めないのが残念。

異常なくらいに学習させる親や、あまり子供に関わらないと極端な傾向があるのと、地域によっては近所、周辺での、挨拶、関わりが薄すぎるどころもあって子育てしにくい所もある 同世代の子供がいても近所でも、合わない事が多い 逆に過剰に繋がりがあり、トラブルがおこるところも。

子どもが不登校を経験しました。私は家庭学習をともにすることができましたが、できない家庭が多いようです。支援が必要です。学校は行かなくてもいいけど学習は必要。でないとますます学校からの距離ができてしまいます。

共働き家庭が増え、スマホ、携帯を持つ年齢が早くなってきていることから、子供の友達関係がわからなくなっている。どんな会話をしているのかもわかりづらく気になるそうです。

家庭教育に対して二極化している。経済的に余裕がない家庭では、子供との時間がなく難しいのでは？誰かと放課後を共に過ごせる環境づくりが急務。

それぞれの子どもの性格によって家庭教育の仕方を変えないといけない。

子供はまず親を見て育つ！自分自身の言動や行動には気をつけ、子供と接する時間は大切にしようと思っています。それがおのずと子供に伝わり、また教育につながっていくと信じています。子を持つ親として、景気が低迷し変な事件が多くなってきている昨今、子供の将来はとて不安です。少しでもいい学校に入れるよう今後教育には力を入れていくつもりです。

小学生の息子の同級生で、家庭環境が気になる子が何人かいます。(出席日数が少ない、あまり親に干渉されていない…など)1保護者として、私は必要以上によその家庭に干渉することはできませんが、先生方も日々色々大変だとは思いますが、公務員であるからこそ気にかけることはできると思います。

家族、社会の関わり方がおかしすぎる 目上(親、祖父母、先生等)の人を尊敬する環境が必要 男女平等とか、そもそも男であり女であることが大切 平等を取り違えて環境を整えすぎ 地域の子どもクラブとか特定の人だけに恩恵があるようなことはやめてもらえたら有りがたいです。行政としては既存組織の活用で楽なのでしょうが…

本当の情報を得る場所の減少。仕事をしていたら、取り残される感がある。

行政がもっと各家庭に関わる仕組みを考えてください。

和歌山市から相談できるところを紹介してほしい。

教職員のサラリーマン化 もっと子供と真剣に向き合う。

地域のコミュニティーが機能していない、他人への干渉が非常に少ない時代になっている。自分が住んでいる地域(本町周辺)は子供も少なく、高齢者ばかりが目立つ。子育て環境を考えた場合は、別の地域へ引っ越しするなど視野にいれないといけない。子供への習い事についても、和歌山市独自で子育て支援・家庭教育支援として支援をしてくれたら嬉しいですね。

(市としてスポーツに力を入れる等) 習い事や教育費用の行政からの支援も検討ください。

結婚・生活・子育て・学費への備えの方法(学資保険など)の事について、若いうちから教えておいてほしい。社会に出てからのお金に関する事を、もっと義務教育からやっておくべき。

家庭教育、子育てなどに関わる講座を自由参加で定期的で開催してほしい。

学校に任せきりの親が増えたと思う。そんな親に限ってモンスターペアレンツです。

過保護にしてしまっている気がしています。

思っても出来なかったり、正解があるようでないので、なかなか難しいなと思いつつ、手探りでしてます。

子育ての真っ最中ですが、しんどさを感じる人が多いです。家庭教育は非常に重要だと思いつつも、なかなか十分にできていないのが現状です。自分の子育てや家庭教育について相談したい人はたくさんいると思うので、気軽に相談できる場所や人、機会をもっと増やしていただけたらうれしいです。

現役引退した世代などに活躍してもらい、子育て相談などに積極的に関わってほしい。マナーや倫理観がすごく低下しているように感じる。

他人のせいや他人任せにする家庭が多いように思う。

子育てに関心のない親だと、何をやっても無駄だと思う。金八先生のビデオでも流してみる？ああいう教育でないと、ある意味変えられないと思うが。

総体的に子に家庭教育できる親が少なくなったのではないかな。親も含めて行政(教育委員会含め)による「道徳教育」(言葉が刺激的ならば躰教育)から再スタートできないものか。

核家族などにより親から子への教育やかかわりが少なくなって、経済的にも子育てに割く時間やゆとりがなくなっている。親自身も自ら学ぶ姿勢が不足している。

自分のこどもをきちんと子育てするのも大切ですが、やがて、成長した時に関わるお友達が、きちんと教育や指導をされていないとなると、悪影響があるのではないかと、心配になります。地域での子育てがすごく重要だと思います。

子どもに高等な教育を受けさせたいと思うが、母子家庭では塾とか習い事に通わせるのも限界がある。例えば、上の子が受験生で塾にかよわせたいと思ったら、下の子は習い事辞めてもらったりして教育の機会が金銭のため奪われる。親として、どちらにも平等に教育の機会を与えてあげたいのに、現実的に厳しい。

親・教師の質とも低下している。何より教育のカリキュラムがかなり削られている感じが否めない。英語教育に力を入れようとしているが十分な日本語の能力を養うのが先である。国語力の低下が著しく、コミュニケーション能力を欠いた生徒・学生が多い。学校だけに頼るのは考えものである。公的教育そのものがかなりサブリイからだ。どういう人材を育てたいのか、国がまず指針を打ち出し、教育全体の水準を上げるべきである。貧困層を救うのはそこから先の問題であるとする。

行政として、何を行うべきか？今までの教育者には資質が足りない。だからイジメへの認識のなさや知らなかったという体質、これは教育委員化全体の問題です。校長や教頭及び担任は、問題意識が全くなく早急な改善が必要です。親ではなく教育委員会の問題です。

親自身が大人としての覚悟や責任感が足りない。社会の常識といったスタンダードがわかりにくい。

学校が休みの時に子供が外で何をしているか良く把握する事が大切。

自立心を植え付けるむずかしさ。

家庭教育は、まず親が学習してから、その次に親子で学習しなければいけないように思います。

子育てや家庭教育について行政が何かできるというのは思い上がりも甚だしい。行政の人間に公共心も礼儀作法もないのに家庭教育の何が問題なのかも分からないだろう。市役所に電話をかけ、違う人を呼び出してもらった時、保留ボタンはおろか、受話器を塞ぐこともしないで、〇〇さん、誰誰から電話で一す。などという人間が未だにいる行政の人間に何ができるのか。道路拡張による立ち退きでも一番揉めるのは公務員であるというのもある意味周知の事実である。行政の人間がなにか新しい取り組みをするということに対しては絶望しか感じない。新しいことをしてその結果、どうなるか問題なのに、それをすること自体が目的になって、達成感を感じてしまっている。自分たちが思っている以上に一般人は市役所の人間に対して諦めている。それに気づかない市役所もまた憐れ。

親が過保護か無関心か、親の経済力などにより、子供の生活や教育環境について格差が大きい。

もう少し助成金などが充実すれば出生率も上がり、子育てしやすい。

共働きの親が多くなり忙しさから子に我慢を強いていることが多くなっているのではないかと思う。手をかけ過ぎないで子をよく見て教育したいものです。それと挨拶、これは一番必要です。最近、子が親を殺すあるいは逆の事件が増加しています。テレビ等の悪影響もあると思いますが命の大切さ・マナー遵守を教える必要があると思いますが、現在の家庭は生活するのが厳しく夫婦共働きという環境なので子供に心身に携わる時間が不足しています。まずこの点から変えていかねばこの問題の解消は難しいと考えます。

明らかに子供が周囲へ迷惑をかけているのに怒らないどころか子供をかばい、周囲へ敵意むき出しの親をよくみかけます。あと筋が通らない主張を恥ずかしげもなく子供の前で自慢げにする親。どちらも親のモラル低下で子供は親を見て育つので負のスパイラルになると思います。なので学校任せ、他人任せでモラルが低下した親を教育しないと繰り返すので親と専門家が話し合える場を作って欲しい。

ご時世でしょうかネットで問い合わせを行えるように進めていきたいとします。

親が子供の自主性を尊重する言葉に酔い、放置しているのが実態

親の背中を見て育つ？

親が過保護過ぎるため、先生方も生徒を叱ることが出来ず、子供が善悪の判断・痛みがわからない子供が増えすぎている。教育についても、先生方に依存しすぎている。勉強はともかく、人間形成まで依存しては駄目だと思う。子供達の情緒がなくなっているのは、季節の行事等を親が家庭でしなくなっているのも原因だと思う。伝承していった方がいい、素敵な日本の文化が減っていくのはさみしいですね。情緒がある子は直ぐに切れないように思います。

小学二年と四年の子供の母です。過保護過ぎ、子供同士で解決すべき問題や、本来子供自信がきいてくるべき連絡事項まで親が確認する家庭が目立つように思います。子供への関わり方をテーマとした情報発信を期待します。

地域での活動自体が減ってきているように感じます。子育て、家庭教育に加え、大災害などへの備え、高齢者の身守り等もかねて、行政が仕事が休みの土日に共通のイベントや講座を開催してほしい。

最近の少子化にもかかわらず、家庭教育に問題が生じていることに鑑み、根本的な施策が必要だと思えます。

親と学校だけでは無理。地域、行政がもっとかかわるべき。

日頃のあいさつ、会話などのface to faceの機会を増やす事が重要だと思えます。

子供と接する中で、様々な問題を抱えている家庭が増えていると感じます。親の離婚とか経済問題。

親のレベルが子供のレベル。連鎖を感じる。

家庭教育に対する思いや要望など、非常に多くのご意見、ご感想をいただき、ありがとうございました。

今後基本理念を定めていくうえで貴重な資料となりました。